

学校・企業における業務中の交通事故リスク低減へ 高松自動車学校が免許取得後の再教育を強化

高松自動車学校（株式会社T・D・S 高松市上天神町646番地／代表取締役：樽本勇紀）は、福島県の磐越自動車道で発生した、バスによる高校生の死亡事故を受け、免許取得後の再教育に関する取り組みをより一層強化していく必要があると考えています。

当校では、企業・学校・一般ドライバーなどを対象に、ペーパードライバー講習、新入社員向け講習、事故惹起者向け講習、特殊車両講習などを実施しており、4月21日には香川県教育委員会主催の「令和8年度 学校管理自動車指定運転者等安全運転講習会」に技能講習の講師として参加しました。

今後は、指導員の経験や技術に基づく指導に加え、車載データなどを活用した定量的な分析を取り入れることで、運転者一人ひとりの課題をより客観的に把握し、定量・定性の両面から安全運転を見直せる講習の実装を進めてまいります。



4月21日実施 令和8年度 学校管理自動車指定運転者等安全運転講習会の様子

【取り組みの背景】

今年5月、福島県の磐越自動車道で、高校の部活動遠征中にマイクロバスが事故を起こし、高校生1名が死亡する重大交通事故が発生しました。また香川県でも、1994年に琴平高校の野球部員を乗せたマイクロバス事故で2名が死亡した過去があり、学校や企業などで車両を運転する方への安全運転教育は、地域にとって継続的に向き合うべき課題です。

香川県内の安全運転管理事業所（学校や企業など、一定台数以上の自動車を使用・管理する事業所）における交通事故発生件数は、令和3年の458件から令和7年には319件へ減少しています。

一方で、今後は人材不足を背景に、定年延長などによるドライバーの高齢化や、外国人材の登用拡大など、企業ドライバーを取り巻く環境が変化していくことが予測されます。事故件数が減少傾向にある中でも、こうした変化を踏まえた継続的な安全運転教育と、企業における事故リスク管理の重要性は高まっています。

さらに、令和7年中の主な事故原因を見ると、「安全不確認」が33件で17.5%と最も多く、「考え事漫然」が22件で11.6%、「脇見」が18件で9.5%と続いています。これらの要因は、運転技術の不足だけでなく、確認行動や注意力、危険予測、安全意識といった、日々の運転姿勢に深く関わるものです。

こうした背景から、当校では、交通事故の減少には免許取得時の教育だけでなく、免許取得後も定期的に自身の運転を見直す「再教育」の機会が重要であると考えています。特に、学校や企業などで業務として車両を運転する方に向けて、運転技能と安全意識の両面から事故リスクを低減する取り組みを進めています。

【免許取得後の再教育に向けた取り組み】

当校では、免許取得後の再教育の一環として、企業・学校・一般ドライバーなどを対象に、安全運転講習を実施しています。主な講習として、運転に不安のある方向けのペーパードライバー講習、企業の新入社員向け講習、事故惹起者向け講習、トラックなどの特殊車両講習などがあり、運転者の状況や目的に応じた内容で実施しています。

各講習では、基本的な運転操作の確認に加え、安全確認、速度管理、車間距離、危険予測、車両特性の理解など、実際の事故防止につながる内容を重視しています。特に、学校や企業などで業務として車両を運転する方に対しては、日常業務の中で生じやすい慣れや確認不足を見直す機会として、安全意識の再確認を行っています。

また、4月21日には、香川県教育委員会が主催する「令和8年度 学校管理自動車指定運転者等安全運転講習会」に、技能講習の講師として参加しました。同講習会は、学校管理自動車の指定運転者や、大型・中型免許を取得している教職員を対象に、行われたものです。当校は、講習を通じて、学校現場で車両を運転する教職員の安全運転意識と運転技能の向上を支援しました。

【定量・定性の両面から運転を見直す新講習へ】

今後は、企業や学校などで業務として車両を運転する方に向けて、より客観的かつ実践的に安全運転を見直せる新たな講習の実装を進めていく方針です。

具体的には、車両に専用デバイスを設置し、急加減速、急停止、速度変化、ブレーキ操作などの車載データを収集・分析します。その定量的なデータに、当校の指導員が持つ専門的な知見による定性的な分析を組み合わせることで、数値だけでは把握しきれない「運転の癖」や「潜在的なリスク」を可視化することを目指します。

これにより、運転者自身が感覚だけに頼らず、自分の運転傾向を客観的に振り返ることが可能になります。また、指導員による指導と組み合わせることで、一人ひとりの課題に応じた改善提案を行い、継続的な安全運転教育につなげていきます。

本講習は、今年の秋ごろを目標に実装を予定しています。今後も地域の交通安全教育センターとして、初心運転者教育に加え、免許取得後の再教育を充実させ、学校・企業における業務運転の事故リスク低減に貢献してまいります。